

社会福祉法人 蓮花の会 令和3年度 事業報告

基本理念

生まれ育ったこの町でこの町のみなさんと一緒に暮らしていきたい（生きたい）と願う当事者家族の思いに寄り添い、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを目指し地域福祉の向上に貢献します。

運営理念

ひとりひとりの個性と可能性を尊重し、住み慣れた地域の中で安心・安全で快適な暮らしができるよう、心かよいあう安定した福祉サービスの提供のために、法令を遵守して健全な法人運営に努めます。

<重点目標>

1 法人理念の浸透

毎朝のミーティング前に基本理念・運営理念及び7項目のスタッフの誓いの唱和を継続し法人理念の浸透に努めました。また、法人理念及び7項目のスタッフの誓いを基に作成した各サービス事業所理念を掲げていますが、利用者および支援環境に応じ、事業理念の変更が必要かを検討しました。

2 福祉人材の育成

「人材の確保」・「定着」・「育成」の視点で、人事評価制度の見直しに取り組みました。顧問社会保険労務士をコーディネーターとして、職員の視点で人事評価項目を話し合い、効果的に確認できるシートを完成することができました。今後の人事評価に導入し、必要に応じて改善します。また、多様化する利用者の特性への支援力向上を目的に、強度行動障害支援者養成研修などへ積極的に派遣しました。

3 法令遵守

各福祉サービス事業所は、専門職等の人員配置基準を守り、個別支援計画作成の手順を再確認して職員全体で作成状況を把握しました。介護給付費等の請求事務については、新たに事業所機能体制の強化を図ったこともあり、算定要件のチェックや、入力ミスがないよう誤請求の防止に努めました。

4 啓発・広報

年間2回「蓮の実ニュース」を発行して各事業の活動等の報告を行いました。前年度も新型コロナウイルス感染予防のため、外部へ向けた活動には制限がありましたが、白石町役場の電光掲示板への広告や、法人のホームページのブログを活用して行事や

利用者の活動の様子などを公開しました。保護者からは「非常食を食べている写真など、活動の様子がみれてよかった」などの感想を頂きました。

5 組織機能の強化

改正社会福祉法に基づいた理事会・評議員会・監事監査会等を適正に開催し、組織統治体制を整備しました。また、税理士、社会保険労務士等の専門家によるチェック及び相談の体制の充実に努めました。

6 法人運営

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 理事・監事会の開催 計 8 回 | 2. 評議員会の開催 計 4 回 |
| 3. 監事監査会の開催 計 1 回 | 4. 評議員選任・解任委員会 計 2 回 |
| 5. 衛生委員会 1 回/月 | 6. 虐待防止委員会 計 2 回 |
| 7. マネージャー会議の開催 | 8. サービス管理（提供）責任者会議 |

(2) 財政基盤

- | | |
|------------------|------------------|
| ① 地域活動支援センター事業収入 | ② 居宅介護事業収入 |
| ③ 日中一時支援事業収入 | ④ 特定相談支援事業収入 |
| ⑤ 障害児相談支援事業収入 | ⑥ 生活介護事業収入 |
| ⑦ 共同生活援助事業収入 | ⑧ 短期入所事業収入 |
| ⑨ 放課後等デイサービス事業収入 | ⑩ 就労継続支援 B 型事業収入 |
| ⑪ 児童発達支援事業収入 | ⑫ 移動支援事業収入 |
| ⑬ 寄付金等収入 | |

(3) 市・町受託金・補助金等

・地域活動支援センター事業	白石町	4,750,000 円
・日中一時支援事業	1 市 2 町	6,233,022 円
・移動支援事業	2 町	2,072,076 円

(4) その他の補助金・助成金等を積極的に申請して法人運営に活用しました。

・白石町手をつなぐ育成会	27,000 円
・特定求職者雇用開発助成金	1,320,000 円
・生きがい活動支援補助金（町社会福祉協議会）	50,000 円
・NHK 歳末たすけあい募金配分金	21,600 円
・MDRT 日本会	200,000 円

7 利用環境の向上

- (1) 新型コロナウイルス感染症予防対策として利用者の健康管理と施設の衛生管理に努めました。利用者及び職員から陽性者が出た場合には、所轄の行政機関や他利用者へ速やかに報告し感染拡大防止に努めました。また、スタンド式の消毒液を増設するとともに、職員にも消毒スプレーを携帯させ、支援を行うことでの媒介者にならないよう対策を講じました。
- (2) 就労継続支援 B 型事業所の工賃向上を目指して平均工賃月額 20,000 円以上を継続しました。きくらげ、椎茸の菌床栽培を中止することから、利用者の就業を継続するため、農福連携や食品乾燥機を活用した次の商品開発に着手しました。
- (3) コロナ禍により全体会議など集合研修を中止しておりましたが、職員の支援の質の向上を目的とし、密を避けながら各事業者単位で会議に参加できるように、web 環境を整備しました。また、その環境を活用し外部講師による服薬に関する研修会や権利擁護研修会を開催しました。
- (4) 新グループホームの開設に向けて、白石町福田の土地を建設用地として農振除外申請を行いました。また、近隣住民への鳥獣被害や風水害の影響を考慮し、旧家の解体を行いました。
- (5) 利用中の事故を未然に防ぐため、ヒヤリハット報告書の改善を行いました。令和 4 年度にはリスク管理委員会を設立し、さらなる事故の予防に努めます。



令和3年度 地域活動支援センター事業報告

1. 事業運営基本計画

利用者が生まれ育った地域で、楽しく豊かに暮らすことが出来るよう、日中活動において、それぞれの障害特性に応じた排泄・食事・送迎等の必要な支援を実施しました。あわせて生産活動の機会の提供を通して就労への意欲を喚起し、社会との交流を促進するとともに、ひとりひとりの個性を尊重した事業経営に努めました。

2. 利用者の処遇

利用者個々の障害特性に応じた軽作業を検討し、働く事の意義と楽しさを知って貰う事で、心身の活性化と日常生活動作の向上に繋がります。また、季節ごとの行事やレクリエーションを取り入れ、他者との交流及び地域社会へ参加できるよう支援いたします。

3. 生産活動

生活介護と協力して手作りの貼絵カレンダーを作成し販売を行いました。

4. 利用者の実績 ※年間延べ利用者数 384人 月平均利用者数 32人 1日平均利用者数 1.45人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	46	31	45	37	6	43	29	45	18	5	37	42

5. 健康管理

毎利用のはじめに体温と血圧の測定を行い、体調不良及び身体に変化がある場合は、施設内の看護師による指示、指導を仰ぎ必要に応じて医療機関へつなげました。

6. 防災計画

年2回、施設内他事業と合同で火災を想定した避難誘導訓練及び災害を想定した避難訓練を実施しました。避難誘導訓練や避難経路の確認を行いました。

7. 日課

サービス提供時間（土・日・祭日を除く 9:30 から 15:30）において適宜休憩をはさみながら軽作業に取り組んで頂き、利用者の体調等を考慮して作業内容を検討し、無理がない程度の日中活動を提供しました。

8. 職員研修

内部、外部の研修等に積極的に参加して、職員会議等で伝達・報告する事により、事業所全体の資質の向上とサービス向上に努めました。

9. 資金報告

令和3年度収支計算書の通り、通常の経営経費は白石町からの補助金収入、利用者負担金で賄いました。

令和3年度 居宅介護事業報告

1. 基本業務の内容

利用者が自宅において、安心、安全に過ごすことができるように時間を厳守して訪問しました。朝の支度や排泄、入浴等の身体介護及び調理等の家事援助を実施しました。

また、一人で病院等を受診できない利用者については、福祉有償運送車両を用いて通院の介助を行い、安全運転で目的地まで送るよう努めました。家族と顔を合わせる機会が少ない利用者には、家族と事業所間の連絡帳を作成して利用者の様子を報告するなど家族との連携に努めました。

2. 利用者の処遇

利用者が出来ることは、自発的に行っていただけるように、自信が持てるような言葉かけに留意した支援を行い、これまで過ごして来られた生活習慣を大切に、課題が見えた場合には、会議等で検討し、より良い支援につなげることで利用者に安心と信頼を得られるよう努めました。新型コロナウイルス予防対策では、支援者から利用者への配慮で車両には飛沫防止カーテンを取り付け支援し、また、新型コロナウイルス感染症のリスクの高い利用者の支援も考えられた為フェイスシールドを準備しました。

3. 健康管理

毎回、サービスを利用の際に、本人もしくは家族に体調や生活面の様子を伺い、変化等がある場合は、記録に残しました。新型コロナウイルス感染症対策として毎朝の検温、手指消毒、マスク着用、アルコール消毒など徹底しました。

4. 利用実績（人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	5	4	5	5	4	5	6	6	7	7	7	7	68
重度訪問介護	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
家事支援	7	6	6	7	7	7	7	7	7	7	6	6	80
外出支援	16	17	17	20	17	20	17	18	17	13	12	13	197
通院	20	19	20	19	20	19	17	19	16	19	18	18	224
延利用人数	49	47	49	52	49	52	48	51	48	47	44	45	581

延べ利用者人数は前年度比 + 70名

5. 移動支援

福祉有償運送により、通院及び外出等の支援を行ないました。令和3年度は、延べ989人（回）の利用があり、16,479km走行しました。新型コロナによるキャンセルが相次ぎ前年度に比べ利用が減少しました。

6. サービス提供時間

午前7時30分から午後7時30分の利用が多く、利用者がいつでも連絡できるよう専用の携帯電話を窓口として24時間体制で行いました。

令和3年度 生活介護事業報告

1. 事業運営の基本方針

利用者が自立した日常生活または社会生活を営む事ができるよう、入浴、排泄、および食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会を提供し、地域における生活の充実と社会的自立を支援するとともに、1人ひとりの個性を尊重した事業運営に努めました。

入浴においては、個々の要望に沿えるよう支援し、安全かつ自立に繋がる支援を行いました。

2. 生産活動

利用者様による手作り貼絵カレンダーを、冬期に行っている物品販売事業に出品し、利用者様の生産意欲の向上を促すことができました。

3. 利用者の処遇

利用者の基本的人権を尊重し常に利用者の立場に立った支援を行いました。また心身の健康管理と維持、軽運動を取り入れ身体機能の向上にも努めました。利用者の増加に伴い、活動スペースでの場の共有が行えるよう、テーブル、ソファ等の配置を工夫し過ごしやすい環境整備に努めました。

4. 健康管理

毎利用時にバイタルチェック（検温・血圧測定・体調確認等）を施行し、体調不良及び身体に変化がある場合は看護師と協力しながら対応しました。また、嘱託医による月1回の往診、健康相談を実施しました。感染予防対策として日常の手洗いと室内の換気の励行、温度・湿度の調整をこまめに行いました。体温調節が難しい利用者には衣服等の調整を行い健康管理に努めました。新型コロナ対策として体温チェック表を各家庭にお渡しして事業所でも朝、昼、15時に測定し観察を行いました。特に手洗い・うがい・手指消毒・換気の励行、消毒液で窓、ドアノブ、床、机、椅子等掃除を行いました。

5. 防災計画

令和2年7月22日（火）午前 11時 00分に水害を想定した訓練、及び令和2年8月21日（金）午前 11時 00分に火災を想定した避難訓練を実施しました。

6. 日課

月曜日から土曜日までサービスを提供し、朝のラジオ体操、水分補給や休憩をはさみながら軽作業と入浴を中心に日中を過ごして頂きました。個別支援計画に基づき一人ひとりの個性や特性に配慮して、課題に沿ったサービスの提供を行いました。

7. 職員研修

- ・令和3年6月25日 発達障害への理解と対応研修～基礎～
- ・令和3年8月23日 チームを率いるキャプテンシー研修

- ・令和4年2月22日、24日 強度行動障害支援者養成研修
法人内研修
- ・令和3年9月1～10月31日 チームワーク向上研修

令和3年度利用実績

	月/区分	2	3	4	5	6	計	市町村別利用者数		年齢別利用者数	
								(令和4年4月31日現在)		(令和4年3月31日現在)	
令和3年	4月	0	33	76	107	143	359	市町村	人数	年齢	人数
	5月	0	31	77	106	150	364	白石町	15	19～25	5
	6月	0	34	76	105	145	360	江北町	2	25～30	5
	7月	0	32	51	99	174	356	大町市	2	30～40	3
	8月	0	28	48	92	168	336	嬉野市	2	40～50	0
	9月	0	12	72	103	171	358			50～60	5
	10月	0	13	73	106	172	364			60～65	2
	11月	22	13	78	98	166	377			65～70	1
	12月	0	4	84	102	173	363			計	21
	令和4年	1月	0	12	90	102	171	375			
	2月	0	12	85	88	152	337				
	3月	0	18	91	78	175	362				
延利用者数		22	242	901	1186	1960	4311				
延利用者数 (R2年度)		117	276	1018	916	1615	3942				
増減		-95	-34	-117	+270	+345	+369				

※ 利用者の73%は障害支援区分5または6をお持ちの方です。(前年度は64%)
事故が起きないように、常にマンツーマンでの対応を行っています。

令和3年度 指定特定相談支援事業（障害者・障害児）報告

1. 事業の目的である“常に利用者（児）の立場に立って、利用者（児）や家族が望む自立した日常生活又は社会生活ができるように、障害福祉サービス事業所等との連携を図り、利用者が暮らしやすい計画相談（サービス等利用計画・障害児利用支援計画）の提供の確保”に努めました。

2. 特定相談支援事業所蓮の実の理念である“寄り添い、ともに歩く”を具現化できるように利用者（児）が関わっている様々な機関で、様子を見せてもらいお話を伺いました。又、利用者（児）や家族等の願いや暮らしを実現できるような計画を立てて、支援を提供してくれる事業所等を探して繋げました。小学校に入学される方は入学式前に関係者に集まってもらい移行支援会議を行いました。必要に応じて利用者（特に児童）の支援会議を開催しました。

3. サービス等利用計画（18歳以上）作成件数及びモニタリング件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
計画作成	5	1	9	5	5	3	6	5	4	2	5	8	58
モニタリング	15	12	10	10	12	12	9	8	17	13	10	8	136
(※) その他				3		1	4	1		3	4		16
合計	20	13	19	18	17	16	19	14	21	18	19	16	210

●令和3年度 障害者計画相談登録者数 【 男性 31名 女性 20名 合計 51名 】

4. 障害児支援利用計画（18歳未満）作成件数及びモニタリング件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
計画作成	6	10	10	10	7	11	8	12	7	8	11	29	129
モニタリング	22	26	19	12	20	26	11	14	19	12	12	17	210
(※) その他	1	1	6	3	6	2	4	2	1	4	3	2	35
合計	29	37	35	25	33	39	23	28	27	24	26	48	374

●令和3年度 障害児計画相談登録者数 【 男児 88名 女児 21名 合計 109名 】

(※) その他：令和3年度から更新やモニタリング月以外でも、必要に応じて訪問や、会議の開催又は参加も介護給付に含まれるようになりました。

5. 職員研修その他

研修内容	開催日
発達障害支援サポーター養成研修	7/20・8/2・8/31・9/11・10/1・10/23・11/29・1/18・2/3・2/15
相談支援部会	4/13・7/13・11/16
精神ネットワーク	7/16
自立支援協議会	4/9・6/11
医療ケア児等研修	8/24・9/27・9/29・1/20
その他の研修（障害児・者支援）	6/17・7/12・10/7・2/2・2/9
職員全体会議	5/26・6/23・7/21・10/27・11/24

令和3年度 共同生活援助事業報告

1. 業務報告

利用者が安心して穏やかに暮らすことができるよう、家庭的な雰囲気作りに努めました。利用者の言葉に耳を傾け、コミュニケーションを図り、利用者の自己選択、自己決定に努めました。温かいホームで、楽しい共同生活を送る事が出来るよう個別のニーズに添うことを大切にしました。個別支援として、買い物の支援や外出、外食等、入居者の希望を聞きながら実施したいと考えていましたが、コロナ禍のため実施に至りませんでした。

2. 利用者の処遇

利用者の心身の状況や、ひとり一人の個性を尊重し、また家族の意向を確認して、個別支援計画を作成しました。その計画に基づき、チームで統一した支援を実践するように毎月の支援会議で申し合わせを行いました。利用者が介護を受けるだけでなく、本人が出来ることを見つけ、毎日の掃除機かけ、洗濯物干しや洗濯物たたみ、コップ洗い等職員とともに実施することで、利用者との関係性も向上してきたと考えます。

3. 健康管理

毎朝、バイタル測定を実施し、異常の早期発見に努めました。また朝、夕の献立を作成し、バランスの取れた消化の良い食事の提供に努めました。誤嚥防止や咀嚼力により個々に合わせた食事形態に配慮しました。また増加しがちな体重管理の為、野菜中心のメニューを作成し提供しました。年間を通じてコロナウィルス感染防止の為、手洗い、消毒、施設内の除菌作業を毎日行いました。

4. 環境の整備

日頃から清掃、換気に努め清潔な環境で気持ち良く生活出来るよう配慮しました。衣類は毎日、リネンは毎週洗濯し快適な暮らしに向け努めました。

5. 防災計画

防災計画を作成すると共に、年2回、法人内の他事業所と合同での夜間を想定した災害時避難訓練を実施しました。(2月・7月) 避難に関わる必要物品や備蓄も買い揃え、定期的に確認をしています。

6. 人材育成と専門性の向上

職員全体会議やスタッフ会議への参加を促し、個人のスキルアップと職員間で統一したケアが出来るように報告、連絡、相談に努めました。法人内での人事評価作成研修が、大変参考になり自分たちのケアを見直す機会となりました。

*職員研修参加状況

〈法人外〉	7/5	7/12	9/8	職場環境改善経営支援アドバイザー派遣事業	山中
	7/20			大人の発達障害 オンライン研修	山中
	9/1	~	10/31	チームワーク向上研修 オンライン研修	全職員
	12/7			サービス管理責任者研修 ZOOM研修	山中
	12/8			福祉サービス苦情解決研修会 ZOOM研修	山中
〈法人内研修〉					
	5月~11月			人事評価シート作成全体ワーク	全職員(正職・パート)
	5/20			障害者虐待防止・権利擁護 映像研修	全員
	2/16			薬について ミズ WEB研修	全員
	2/22	2/24		佐賀県強度行動障害支援者研修	筒井

7. 入退居報告

入退居者 0 6床満床

令和3年度 短期入所事業報告

1. 業務報告

利用者が安心して宿泊することができるよう、家庭的な雰囲気作りに努め、保護者や関係機関との連携を密にして自立に向けた支援に努めました。

2. 利用者の処遇

利用者一人ひとりの心身の状況に応じ、職員が手を出し過ぎず日常生活上の必要な支援を考慮して利用のADLの向上に努めました。利用者ごとに支援目標を定め、個々のニーズに添った支援が出来るよう職員はケアの統一に努めました。

3. 健康管理

利用者の嗜好調査を行いつつ、バランスと消化の良い食事の提供に努め、来所時と起床時の健康チェックを行い体調の変化に留意しました。3年度は新型コロナウイルスの感染防止のため、手洗い、消毒に努め、施設内の除菌作業を毎日実施しました。

4. 環境の整備

施設内の美化と利用者の身の回りの整理整頓に努め、衣類等は入浴後に洗濯し、終了時は清潔な衣類を返却しています。快適な環境で過ごせるよう換気、通気に気を配り空調の管理を行いました。

5. 災害避難訓練の実施

防災計画にそって年2回隣接する施設内他事業所と合同で、夜間災害を想定した避難誘導訓練を実施しました。年2回夜勤職員が担当しての避難訓練を実施しました。(2月・7月)

6. 人材育成と専門性の向上

スタッフ会議や職員全体会議に参加して、個人のスキルアップと共に伝達研修や報告会を通して事業所全体の資質の向上とサービスの質の向上に努めました。

令和3年度 短期入所利用実績

月	利用者数(人)	利用日数(日)	利用延べ日数(日)
4	18	57	112
5	20	57	115
6	19	52	104
7	19	56	113
8	22	55	108
9	20	53	106
10	20	53	108
11	20	51	106
12	17	53	111
1	18	51	106
2	15	33	68
3	18	54	110
合計	226	625	1267
平均	18.8	52.0	105.5
昨年度実績	17.5	52.0	105.0

※2月はコロナ感染の影響で1週間閉鎖をしました。

令和3年度 放課後等デイサービスはなという事業報告

1. 事業運営の基本計画

障害をもつ児童に対し、放課後及び土曜、祝日や長期休業時などに、生活能力の向上に必要な訓練、社会交流、コミュニケーション能力向上を目的に支援を行いました。また、特性に応じた環境調整により安心して過ごせる空間作りを行ったり、児童が成功体験を積むことが出来るような活動を計画しました。

支援の質が低下しないよう、個別支援計画作成手順を遵守し、職員全体で支援の目標や方法を共有できるように努めました。

2. 利用者の処遇

保育士、児童指導員、作業療法士等の専門職を含めた職員を配置し支援にあたりました。1階、2階それぞれの階で児童の特性に応じた環境調整を行い支援にあたりました。

日常生活動作訓練や、学習課題、コミュニケーション能力の向上、社会性の向上（ルール理解）等を行いながら、休日などの一日利用時には各日で行事を計画し余暇時間の充実を図りました。

3. 研修計画

法人全体研修では、講師を招いて研修を行いました。施設外研修としては行政や各団体が主催する研修会へ積極的に参加しました。研修に参加した職員が学んだことを、事業所内ミーティング等で他職員にも報告することで、特性理解や支援技術の向上へと繋げました。

4. 健康管理

保護者や学校担任への体調等の聴取は随時実施しました。利用開始時には体温測定などのバイタルチェックを行いました。

衛生管理面にも配慮し、来所時の手洗い・消毒、食事やおやつ前の手洗いを実施しました。新型コロナウイルス感染予防対策としては、各家庭に感染症予防対策への協力依頼のお便りを配布、日頃より各家庭にて朝昼夜の検温を徹底していただき、利用時に検温表のチェックを行いました。また、玩具や机などの備品の消毒、室内換気、利用児童へのマスク着用の促しを行いました。

5. 防災計画

令和3年7月21日午前11時00分に本体施設内就労継続支援事業所より火災が発生、令和4年2月23日午前11時00分に本体施設厨房より火災が発生したという想定にて、2回避難誘導訓練を実施しました。

6. 日課

学校からの送迎後、手洗い・消毒、バイタルチェックを行い、個別支援計画に沿った課題や訓練を実施しました。特性に応じて個室で宿題等をしたり、知育ゲーム・玩具を友達と一緒に楽しまれた

り、外に出て集団遊びをしたり、各々が好きなことをして過ごせるようになりました。

7. 利用実績

① 利用契約児童数

小学部	中学部	高等部
33名 (+3名)	4名 (-2名)	12名 (±0名)

② 利用実績児童数 (令和3年4月～令和4年3月)

年 月	延べ利用者数	1日平均利用数
令和3年4月	462名	17.8名
令和3年5月	458名	17.6名
令和3年6月	441名	17.0名
令和3年7月	490名	18.1名
令和3年8月	406名	18.6名
令和3年9月	449名	17.3名
令和3年10月	451名	17.3名
令和3年11月	421名	16.2名
令和3年12月	462名	18.5名
令和3年1月	423名	17.6名
令和3年2月	257名	14.3名
令和3年3月	409名	15.1名
年間延べ利用者数・平均	5129名 (+139名)	17.6名 (+0.8名)

※令和3年2月、3月は新型コロナウイルス感染症のため閉所及び利用自粛が多く利用児童の減少が目立ちました。



令和3年度 就労継続支援B型 事業報告

1. 事業運営の基本計画

一般就労が困難である利用者に対して就労の機会を提供し生産活動やその他の活動を通じて、ひとりひとりの個性を尊重し地域における生活の充実と社会的自立の支援に努めました。

2. 利用者の処遇

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体
開所日		26	26	26	27	23	26	27	26	25	24	24	27	306
利用者	延べ人数	216	211	211	214	197	229	238	218	222	212	186	241	2,595
	1日平均	8	8	8	8	9	9	9	8	9	9	8	9	8
総支払額		219,347	215,237	213,914	424,771	204,681	225,009	234,891	216,886	504,396	198,747	184,205	234,258	3,076,342
工賃	月額工賃支給者数	12	12	12	12	11	13	13	12	12	12	12	13	146
	平均/月	18,279	17,936	17,826	35,398	18,607	17,308	18,069	18,074	42,033	16,562	15,350	18,020	21,071

※7月・12月は賞与を含む

利用者の立場に立ち心身の健康保持と生産活動の能力向上に努め、令和3年度目標の平均工賃2万円以上を達成しました。

お楽しみ会は、人の集まりを避けて、1月17日に八坂神社へお参りに行きました。食事会等は計画が立てられませんでした。

令和3年度は新しい利用者も増えました。それに伴い作業の内容も利用者に対応できるよう工夫を行いました。

3. 生産活動

①手作り弁当事業（白石産の原材料にこだわった手作りの美味しい弁当）

弁当・配食事業は、お客様のニーズに出来る限り対応し、安心・安全な弁当を提供しました。お弁当の総数は25,042個、一日平均82個でした。前年比2,024個の減でした。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
弁当	個数/月	2,111	1,979	2,131	2,229	1,968	2,219	2,235	1,962	2,010	1,966	1,956	2,276	25,042	2,087
	1日平均	81	76	82	83	86	85	83	75	80	82	82	84	979	82
配食	個数/月	986	1,032	985	1,051	961	1,043	1,064	1,090	1,073	1,006	928	1,025	12,244	1020
	1日平均	33	33	33	32	33	32	32	33	33	29	33	34	390	32.5

②受 託 事 業（配食サービス・JA 葬祭用ギフト包装作業）

配食の総数は12,244個で一日平均32.5個でした。前年比2,336個の増でした。

JA 葬祭用ギフト包装作業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
納品数	400	600	1,000	600	600	1,000	800	600	600	1,000	1,200	1,500	9,900	825

③自 主 製 品 事 業（加工食品・手作り小物作成・販売）

④そ の 他 作 業（生花ラッピング・空き缶・空きビン回収・選別等）

きくらげ・しいたけ栽培事業に代わる仕事として生花のラッピング作業に挑戦しました。

⑤自 主 裁 培 事 業（5月～9月 きくらげ栽培）

（10月～4月 しいたけ栽培 野菜加工）

※令和3年度をもって、きくらげ・しいたけ栽培終了しました。

4. 防災訓練

火災を想定した避難訓練を令和3年7月21日（水）と令和4年2月23日（水）に行い7月は消防隊員立ち合いで消化訓練も行いました。



JA 葬祭用ギフト作業



生花のラッピング作業

令和3年度 児童発達支援事業ほっぷ・すてっぷ事業報告

1. 事業運営の基本方針

児童が日常的基本動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、児童の心身及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行いました。

2. 利用児童の処遇

保育士、社会福祉士の専門職を含めた職員を配置し支援にあたりました。日常生活動作訓練や個別訓練、コミュニケーション能力の向上、社会性の向上等を身につけることへの支援を行いました。

3. 健康管理

保護者に児童の体調等を提供記録に記入して頂き、また保育園に迎えに行った際、担任へ登園時からの体調等の聴取を実施しました。利用開始時には体温測定などのバイタルチェックを行いました。衛生管理面にも配慮し、食事の手洗い実施や、室内の換気などこまめに行いました。

新型コロナウイルス感染予防対策としては、各家庭にて来所前日の夜、来所日の朝の体温チェックやマスク着用等のご協力をお願いしました。事業所でも来所時と昼に体温測定を行いました。また送迎後は車内や玩具、机などの備品の消毒を行い、清潔を保つように努めました。食事の際は、できるだけ個別に食事を行えるよう環境を整え感染予防に努めました。

4. 防災計画

令和3年7月21日(水)乾燥小屋から火災を想定した訓練を実施しました。又、令和4年2月22日(火)23日(水)、24日(木)、25日(金)、3月2日(水)は、本体事業所の厨房より火災を想定した避難訓練を実施しました。

5. 日課

保育園や自宅への送迎後、バイタルチェック、朝の準備、排泄、手洗いをを行い、個別支援計画に沿った訓練を実施しました。朝の会は年齢に応じた活動を行い、椅子に座る練習をしました。また個別訓練を行う事で、苦手な課題を克服できるよう支援しました。就学に向け、年長の児童には、グループワーク等を行い、集団で取り組む経験を促しました。今年度は、年長の児童11名の卒所式を行いました。

6. 研修参加実績

- ・発達のご案内になるお子さんへの支援 ―感覚統合は遊びとお手伝いから―
- ・発達障害児の療育 ～ペアレント・プログラム～
- ・発達障害児・者の支援～医療と福祉のハイブリッド支援
- ・気になる子の視点から保育を見直してみませんか
―特別なてだてとともにいつもの保育の充実を―
- ・障害者虐待防止法の概要と現状

7. 実績

①利用契約児童数

契約児童総数 25 名

未満児（3歳以下）	年少児	年中児	年長児
1名	4名	9名	11名

②利用実績児童数（令和3年4月～令和4年3月）定員 10名

年 月	開所日	延べ利用児数（前年度比）	1日平均利用数（前年度比）
令和3年4月	21日	84名（+84名）	4.0名（+3.7名）
令和3年5月	18日	73名（+67名）	4.0名（+3.7名）
令和3年6月	22日	93名（+86名）	4.2名（+3.7名）
令和3年7月	20日	82名（+70名）	4.1名（+3.3名）
令和3年8月	21日	85名（+69名）	4.0名（+3.1名）
令和3年9月	20日	101名（+84名）	5.0名（+3.6名）
令和3年10月	21日	97名（+65名）	4.6名（+2.2名）
令和3年11月	21日	90名（+44名）	4.2名（+1.6名）
令和3年12月	21日	108名（+52名）	5.1名（+2.5名）
令和4年1月	19日	94名（+38名）	4.9名（+2名）
令和4年2月	18日	74名（+16名）	4.1名（+0.9名）
令和4年3月	22日	119名（+41名）	5.4名（+2.1名）



令和3年度 日中一時支援事業報告

1. 運営基本計画

利用者ひとりひとりの個性と家庭の教育方針を尊重し、生活習慣の確立及び機能の向上に心がけ、明るく楽しい施設運営に努めました。

2. 利用者の処遇

すべての利用者を平等に処遇し、趣味の活動や娯楽を通して将来の自立に向けた生活習慣の指導・訓練とADLの向上に努めました。また休日、ショートステイ明けの朝には、うれしの特別支援学校までの送迎希望に対応しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登校前支援	15	16	8	14	0	17	13	9	13	14	15	8	142
日中支援	30	29	33	31	20	20	30	25	27	21	21	26	313
生活介護後	97	101	104	95	75	99	102	104	93	84	70	107	1131

※ 生活介護終了後の利用者延べ人数は前年度比 +357名で増加

3. 環境整備

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防に心がけ、施設内清掃と利用者周辺の整理整頓に心がけました。食事やおやつ前には手洗い、消毒を促しました。また利用前には手すり椅子などのアルコール消毒を励行するなど衛生管理に努めました。

4. 防災計画

年2回、施設内他事業と合同で火災を想定した利用者を含めた避難誘導訓練を行いました。計画的に実行し、今後の対策と反省点などを職員全体で共有できました。

5. 日課

(平日) 利用開始～18:00 (土曜、祝祭日、長期休業時) 9:00～17:00

保護者の都合により、その範囲内で利用時間を伸縮し対応しました。また、利用者の嗜好に合わせた過ごし方を支援しました。

6. 職員研修

内部、外部の研修に積極的に参加し、職員全体会議で伝達報告を実施することにより事業全体の資質の向上と統一した支援に努めます。

7. 資金報告

令和3年度収支計算書の通り、通常資金は市町からの委託費収入および利用者負担金等で賄いました。

令和3年度 新グループホーム建設事業報告

1. 事業運営報告

- ① 地域住民に対し、グループホームの概要及び建設までの計画を説明しました。
- ② 地域の役員交代時には会議に参加し建設計画及び進捗を説明しました。
- ③ 新グループホームは介護サービス包括型（日中は生活介護や就労事業所へ通所し夕方に帰宅する）での運営計画を立てました。同様の施設基準で運営を行っている事業所へ、管理者、設計士と共に見学を行い、福祉制度や人員基準などについて知見を広めました。

2. 行動報告

- | | |
|---------|---------------------|
| 令和3年5月 | 建設計画会議（土地の開発許可について） |
| 令和3年10月 | 農振除外許可手続き |
| 令和3年12月 | 農振除外許可申請提出 |
| 令和4年3月 | 福田の旧家の解体完了 |



令和3年度 蓮の実ファミリー会事業報告

1. 実績報告

開催年月日	人数	内容
第14回 (5/20)	6人	自己紹介、座談会 (就学について)
第15回 (7/15)	6人	自己紹介、座談会 (就学 (中学) について、支援学級について)
第16回 (9/16)	2人	座談会 (学校、家での様子について)
第17回 (11/18)	5人	自己紹介、座談会 (就学について)
第18回 (1/20)	0人	コロナ感染拡大防止の為中止
第19回 (3/17)	0人	コロナ感染拡大防止の為中止

※ コロナ感染拡大防止の為、中止もありましたが、感染対策をとりながら開催する事ができました。同じ境遇の親同士で悩みを共有する事で、子育てに対する不安の解消となり、情報交換の場、親同士の交流の場となりました。